

高梁川流域 キッズ

たかはしがわりゅういき

高梁川流域の

でんとうてき

ぎょうじ

げいのう

伝統的な行事と芸能

たなばたのせっく

七夕の節供

新高総早倉矢井浅里笠
見梁社島敷掛原口庄岡
市市市町市町市町市



かん けい ば しょ
関係のある場所

—



ぎょう じ

この行事について

「七夕の節供(七夕)」は、五節供のひとつです。もともとは旧暦の7月7日で、盆の少し前の時期で、盆前の禊の行事として行われていました。現在では、新暦の7月7日に行われているのは皆が知っているとおりです。もとは棚機と書かれており、その行事は、水辺に作った棚に乙女が織った着物を供え、人々のけがれをはらうものでした。その着物を織る織り機も棚機といわれていました。また、中国の古い言い伝えである織女星と彦星が天の川を渡って年に1度会うという話とあわさり、織物が上手になるよう願うようになりました。その後、芸事や書道の上達も願うようになり、さらに様々な願い事を短冊に書くようになったといわれています。